

輝けロータリアン、ささやけ歴史の真実

～あなたの笑顔が見たいから～



行田ロータリークラブ

国際ロータリー第2570地区 第5グループ

2023-24RI 会長:ゴードン R.マッキナリー ガバナー:高丹秀篤 会長:坂本研一/幹事:小池俊輔
例会日:木曜日午後 12:30 会場:キングアンバサダー 編集・発行:IT、公共イメージ向上委員会 委員長:小松和弘

第32回(第2731回) 2024年 4月 第1例会 4月 4日(木)

[卓話例会]

パスト会長卓話 第49代会長 島崎政敏 会員

- 点鐘 / 坂本研一 会長
- 国歌斉唱 / Rソング / 四つのテスト 唱和
- 会長の時間 / 坂本研一 会長
- 幹事報告 / 小池俊輔 幹事
- 委員会報告 / 松岡 壮年健康・ゴルフ委員長
- Rの友読み処紹介 / 小川忠喜 Rの友委員長
- 誕生祝い

- 卓話者紹介 / 小沢 職業・PP 奉仕委員長
- 卓話
- 謝辞
- 出席状況・ニコニコ・ドネーション報告
- 点鐘 / 坂本研一 会長

司会進行:小松 会員

○点 鐘

会長挨拶 / 坂本研一会長



「ささやけ、歴史の真実」というサブテーマで始まった今年度ですが、いよいよ4月になってしまいました。語らなくても良い「源氏はどこから来たのか」というメインテーマについてお話をしなければいけない時期になってしまいました。日本の金石文の一番は金錯銘鉄剣、二番は七支刀、三番が多賀城碑文。七支刀はすでに物語になっています。次は金錯銘鉄剣の物語が始まります。

その前に神功皇后の秘密と源氏の由来について整理をしなければなりません。

まず、神功皇后と七支刀は韓国ドラマ「クンチョゴワン・近肖古王」で物語になっています。



(クンチョゴワン・近肖古王、在位期間 346年から375年)

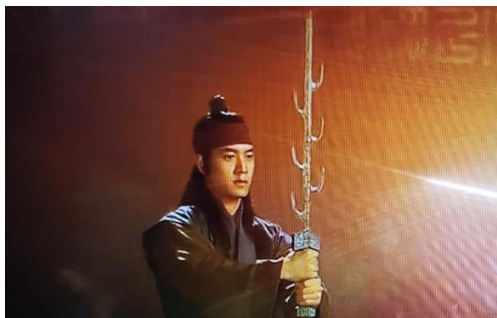
ヨグンを太子に立て、次男ヨグスをヤマタイに行かせることを決意したヨグ。しかし、ヨグの思いを立ち聞きしたヨグンは苦悩の末、ある行動に出る。数年後、ヨグの還暦祝いに集った臣下たち。ヨグは**七支刀**(しちしとう)を見せ高句麗攻略、すなわちハンタン統合への号令をかける。七支刀伝来は372年、倭

国にある小国ヤマタイ国の王女チング(神功)ヨグの二男・ヨグンを婿に迎え、その力を借りて倭国を統一する。神功皇后本人とされる。神功皇后の旦那は仲哀天皇・・・その父はヤマトタケル・・・つまりヤマトタケルは近肖古王ということになってしまいます。

仲哀天皇に対する記述がほとんどないにも関わらずヤマトタケルの物語が豊富なのはなぜか？

古事記や日本書紀は日本を強く見せたいがための物語であり、決して真実ではないということでもあります。

韓国ドラマ・ソドンヨの中の七支刀



百済武王の物語

(在位 600 年～641 年)

朝鮮半島には七支刀は出土していないにもかかわらず七支刀は存在感があります。武王が出たので次代・義慈王についてもお話しておきますが。百済最後の国王・義慈王は倭国と同盟し、その王子豊璋と善光(扶余勇・禅広王・余禅広)を倭国に送った。日本に残った善光が百済王族の血統を伝えることとなった。百済王氏(くだらのこにきしうじ)という姓を倭王から賜る。一族の娘を桓武天皇・嵯峨天皇らの後宮の宮人とした。百済王氏(百済王族)の血統は、百済最後の国王・義慈王の王子・百済王善光の子孫が皇室を通して現代にも伝わっており、義慈王 — 百済王善光 — 百済王昌成 — 百済王郎虞 — 百済王敬福 — 百済王理伯 — 百済王俊哲 — 百済王教俊 — 百済王慶命(嵯峨天皇女御) — 源定(嵯峨第六源氏) — 源唱 — 源周子 — 源高明 — 源明子 — 藤原尊子(藤原道長の娘) — 源頭房 — 藤原賢子(白河天皇中宮) — 堀河天皇 — (以後歴代天皇)と、18代以降は皇室に伝わることになる。もちろん桓武天皇の母、高野新信笠も百済武寧王の子孫でありますから多分に百済の血統を受け継いでいる事になります。

「源氏はどこから来たのか」

これについては、4月24日・25日の多賀城碑文を訪れる時に詳しくお話をさせていただきますが、とても衝撃的な内容ですので、少しばかり予備知識としてお話をさせていただきます。日本の臣籍降下は

- ① 桓武天皇 737 年～806 年皇子・皇女 35 名 + α (後宮 35 名 + 10 名 α) 平氏として臣籍降下
- ② 嵯峨天皇 786 年～842 年皇子・皇女 50 名(源氏の祖 32 名)源信、源弘・源常・源明 814 年

源氏 21 流、日本における最初の源氏(藤原冬嗣の時代)五胡十六国時代を終わらせた北魏の影響が強い。平安の三筆、空海・橘逸勢・嵯峨天皇、大変優秀な天皇であった。

- ③ 源氏物語 光る源氏のモデル嵯峨天皇第 12 源氏「源融」、嵯峨源氏ではこの系統が隆盛次の金石文(474 年)からみた中国における源氏の由来。

【北碑南帖】

南北朝時代、北朝では高価な紙はなかなか使えなかった。北朝では金石文が発達し、石碑や墓誌に使用されることとなります。南朝では石碑の建立は禁止され、紙の生産・使用が一般的であり、これを北碑南帖と言います。ちなみに日本の紙の伝来は高句麗から 602 年であり、製造は 702 年です。世界最古の印刷物は日本の「百万塔陀羅尼(ひやくまんとうだらに)であり 770 年の作です。北碑の中から源氏についての記述を見えます。

【墓誌から見た中国北朝時代の民族融合】

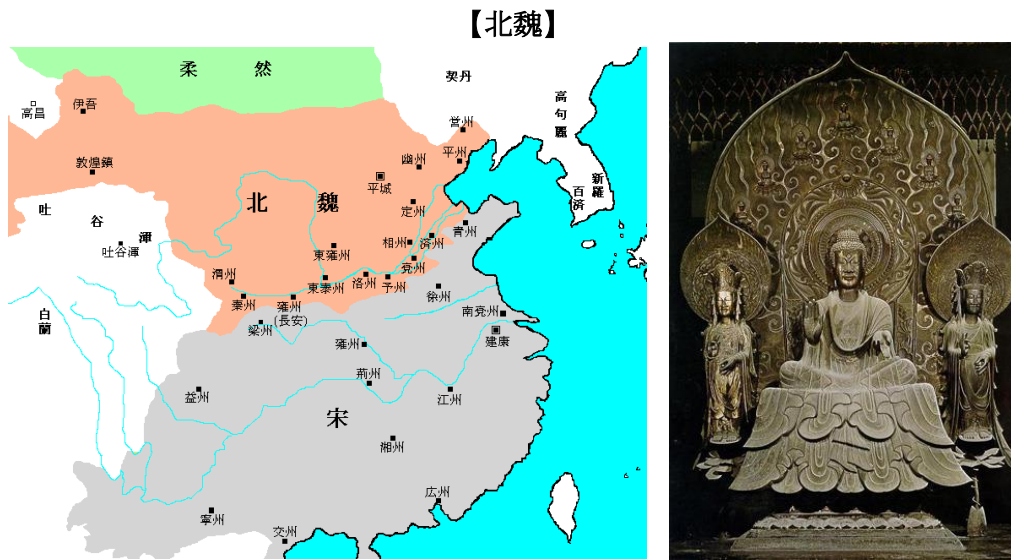
— 司馬金龍家族墓誌(474 年)を手がかりとして —

張 学 鋒

中原に入り込んだ主要な 民族—匈奴・鮮卑・羯・氐・羌は、互いに攻め合い、王や皇帝を自称し、前趙(匈奴の劉氏)・後趙(羯人の石氏)・前涼(西晋の涼州刺史、漢人の張氏)・後涼(氐人の呂氏)・南涼(鮮卑の秃髮氏)・北涼(匈奴の沮渠氏)・西涼(漢人の李氏)・前燕(鮮卑の慕容氏)・後燕(鮮卑の慕容氏)・南燕(鮮卑の慕容氏)・北燕(鮮卑化漢人の馮氏)・前秦(氐人の苻氏)・後秦(羌人の姚氏)・西秦(鮮卑の乞伏氏)・夏(匈奴の赫連氏)・成漢(氐人の李氏)等、少なくとも十六の政権を相次いで樹立した。歴史上「五胡乱華」と称されるこの一世紀近い混戦状態を収束させ、華北を再統一したのが、鮮卑拓跋部の建てた北魏王朝である。司馬金龍伝および出土した欽文姫辰 墓誌銘の記載によると、欽文姫辰は太尉隴西王源賀の息女であり、また鮮卑族の乞伏文照(昭) 王(直勲賀豆跋の岳父)の外孫女であった。源氏は鮮卑秃髮部の子孫であり、五胡十六国時代に その祖である秃髮烏孤が河西に南涼を建国し、三代後の秃髮儁檀の時代に鮮卑乞伏部の建てた西秦によって滅ぼされた。源賀は秃髮儁檀の息子であり、後に北魏太武帝に帰順した。欽文姫辰 墓誌銘では、彼女の父「源賀」を「直勲賀豆跋」と記している。「直勲」とは鮮卑語で「貴人」の意味であり、「只斤」と記すこともあり、特に王子或は北魏皇帝の子弟を指す言葉である。「賀 豆跋」とは「源賀」であるから、「豆跋」は「秃髮」の別表記と見て間違いない。孝文帝が漢化 改革を推進した際、北魏皇室は「拓跋」の姓を「元」とし、「拓跋」と同源の「秃髮」には源氏の姓を賜った(9)。墓誌から明らかなように、欽文姫辰墓銘が刻されたのは北魏延興 4 年(474 年) であり、これは「漢化政策」が推進される前のことである。『魏書』が編纂されたのは漢化以後 のことであるから、両者の間には氏名表記上の相違が存するわけである。

【 飛鳥時代北魏様式の仏像 】

飛鳥寺本尊、法隆寺金堂釈迦三尊像(623 年)などに代表される様式を止利式といい、杏仁形の眼、仰月形の鋭い唇、アルカイック・スマイル、左右対称の幾何学衣文、正面観照性の強い造形などを特徴とする。止利式の仏像が北魏様式と言われる。南朝の仏像の現存するものが少ない



北魏(ほくぎ、386 年 - 535 年)は、中国の南北朝時代に鮮卑族の拓跋氏によって建てられた国。前秦崩壊後に独立し華北を統一して、五胡十六国時代を終焉させた。

国号は魏だが、戦国時代の魏や三国時代の魏などと区別するため、通常はこの拓跋氏の魏を北魏と呼んでいる。また三国時代の魏は曹氏が建てたことからこれを曹魏と呼ぶのに対して、拓跋氏の魏はその漢風姓である元氏からとって元魏(げんぎ)と呼ぶこともある(広義には東西分裂後の東魏と西魏もこれに含まれる)。さらに国号の由来から、曹魏のことを前魏、元魏のことを後魏(こうぎ)と呼ぶこともある。

法隆寺の本尊として金堂中の方に安置されている釈迦三尊像は、聖徳太子の等身像として作られたものだが、完成したのは太子の死後1年経った623(推古三十一)年である。作者は飛鳥仏と同じく、渡来系の仏師鞍作止利である。

この三尊像は、渡来人系の仏師鞍作止利が作ったこともあり、大陸、とくに北魏の影響が指摘されている。当時の日本には独自の仏像文化などはなかったわけだから、大陸から輸入するか、渡来人が大陸をモデルにして作ったか、そのどちらかであったわけである。シルクロードの終着点は長安、後に洛陽。平城に都を置き、南の漢民族を支配した。北魏様式が飛鳥の地までたどり着くということはシルクロードの終着点が飛鳥ということにもなる。(パルテノン神殿と法隆寺のエンタシスなど)蘇我氏亡き後、北魏様式の仏像も無くなる。蘇我氏はどこから来たのか？藤原氏はどこから来たのか？おそらくこの2点が解明されると日本の古代史の霧は晴れて来ると思われます。

源氏はどこから来たのか？いよいよ4月24日の研修親睦旅行の時に全文を披露したいと思います。本日は第49代会長(2014~2015年)島崎政敏パストプレジデントの卓話です。宜しくお願いします。

幹事報告



小池 幹事

4月の研修・親睦旅行の件、次回例会の件など。

委員会報告



壮年健康・ゴルフ 松岡 委員長
ゴルフコンペ開催のご案内

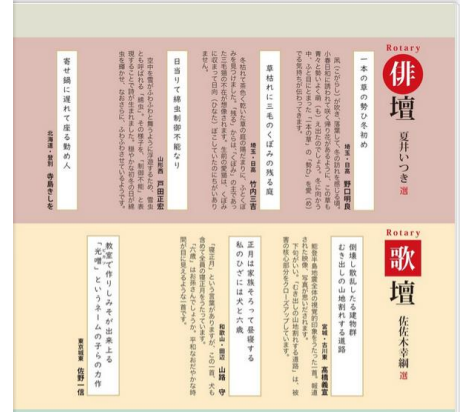
Rの友読み処紹介



ロータリーの友 小川忠喜 委員長



震災において茨城からの支援



埼玉日高 RC のメンバーの俳句

誕生日



4月には、小松会員、斎藤浩二会員、石渡会員、小山会員が誕生日を迎えられます。
小松会員が代表スピーチをしました。



卓話者紹介



小沢 職業・PP 奉仕委員長

卓話



パスト会長卓話 第49代会長 島崎政敏 会員
テーマ「陽はまた昇る」において理事からの連判状。こころの講演会を開催した件、年度報告書を発行した件について卓話を頂きました。

今月の文芸賞発表



選考委員 鈴木克枝 会員



碓井 会員が優秀賞を受賞しました

出席状況・ドネーション報告



大石 ドネーション・出席委員長

出席状況報告
正会員数 57 名
出席規定免除者 2 名
55 名中 32 名出席
出席率 58.2 %
ニコニコ報告
円
ドネーションボックス
142,000 円

《ニコニコ報告》

《ドネーションボックス》

坂本研一会長、小松会員、斉藤恭一会員、碓井会員、小林群司会員、野口会員、小沢会員

《本日の司会進行》



小松 会員